



白球の「物語」を巡る旅

コンテンツツーリズムから見る

野球の「聖地巡礼」

著者 増淵敏之（法政大学教授）

なぜ野球だけは戦後も ベースボールと 呼び名を変えなかったのか？

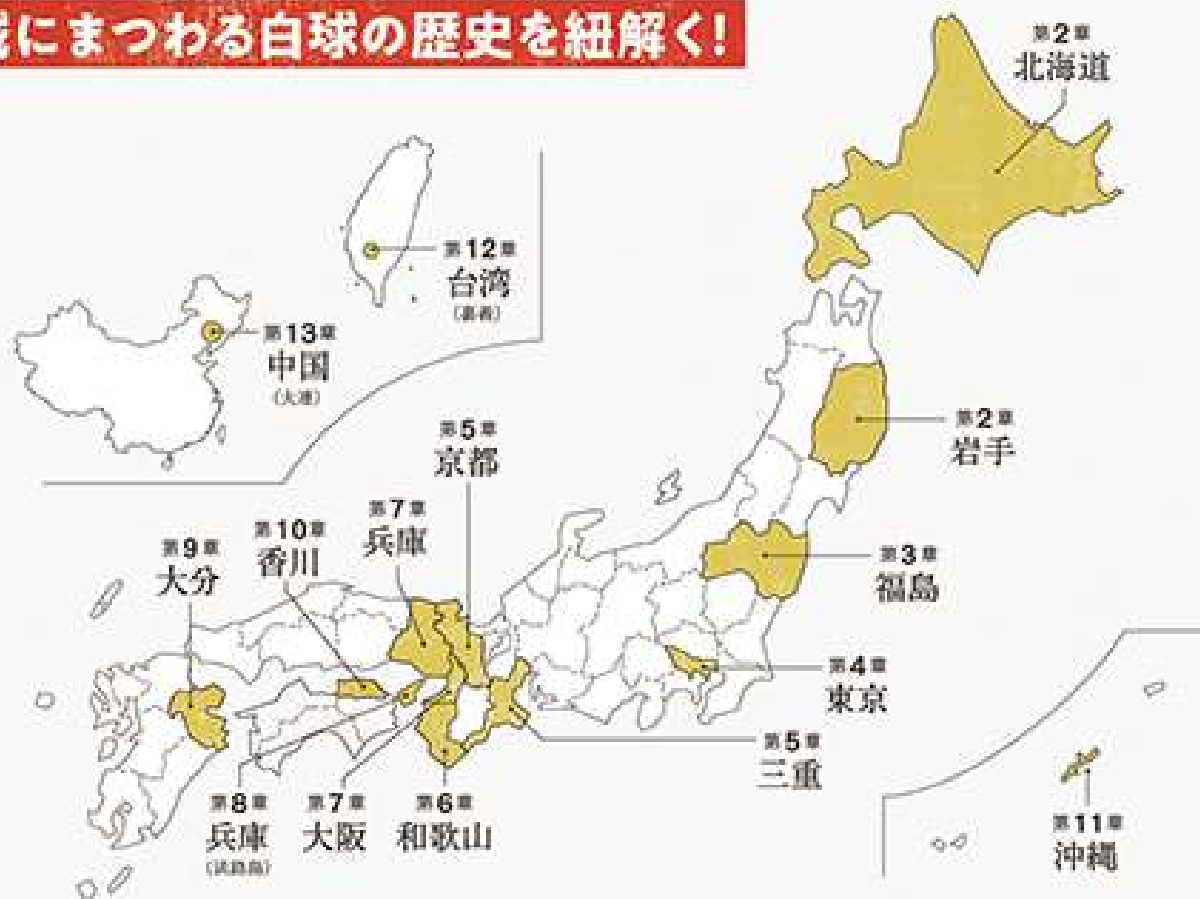
海外から伝えられたベースボールが野球として定着していく過程を

各地に残る球場、記念碑、墓碑から辿る。

地域と野球の結びつきを考察した「球史聖地巡礼の旅」の記録

北海道～沖縄、台湾、中国まで。

地域にまつわる白球の歴史を紐解く!



目次

はじめに

- 1章 地域と野球の関係性
- 2章 北海道・岩手 —— スタルピン、久慈次郎の足跡 (旭川・函館・盛岡・二戸)
- 3章 福島 —— 野球熱でつながる常磐炭鉱と磐城高校 (いわき)
- 4章 東京 —— 大学野球の源流を辿る
- 5章 三重・京都 —— 戦火に散った伝説の大投手・沢村栄治 (京都・伊勢)
- 6章 和歌山 —— 全試合完封で甲子園を制した嶋清一の放駒を訪ねて
- 7章 兵庫・大阪 —— 知られざるスタジアムの歴史 (大阪・神戸・西宮・宝塚)
- 8章 兵庫 (淡路島) —— 阿久悠と「瀬戸内少年野球団」に見る離島の野球文化 (西本)
- 9章 大分 —— 幻の企業チーム「別府星野組」(別府)
- 10章 香川 —— 永遠のライバル・水原茂と三原脩の物語 (高校)
- 11章 沖縄 —— 戦争に翻弄された沖縄球児と島田敏の功績
- 12章 台湾 —— 日本が持ち込んだ台湾野球の黎明期
- 13章 中国 —— 大連満洲倶楽部と大連実業団がしのぎを削った時代

大月書店 注文書

ご注文の際は、この注文書に冊数をご記入の上、お取引書店の方にお渡してください。

書店名 欄合		<p>ISBN 978-4-272-61242-0 C0075</p> <h2 style="text-align: center;">白球の「物語」を巡る旅</h2> <h3 style="text-align: center;">コンテンツツーリズムから見る野球の「聖地巡礼」</h3> <p style="text-align: center;">【著者】増淵敏之 (法政大学教授)</p>
ご注文	冊	◆本体 1,800円